

15 米穀周年供給・需要拡大支援事業

令和9年度予算概算要求額 7,705百万円（前年度 5,000百万円）

<対策のポイント>

生産者、集荷業者・団体の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備し、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や海外用など他用途への販売を行う取組等を実施する体制を構築するため、**民間主導のコメの周年供給・需要拡大等に対する取組を支援**します。

<事業目標>

生産者、集荷業者・団体による自主的な経営判断や販売戦略に基づく、需要に応じた米の生産・販売の実現

<事業の主な内容>

1. 周年供給・需要拡大支援（産地事業）
- 産地において、あらかじめ生産者等が積立てを行い、以下の取組を実施する場合に支援します。
- ① 主食用米を翌年から翌々年以降に長期計画的に販売する取組
（播種前契約、複数年契約の場合は追加的に支援）

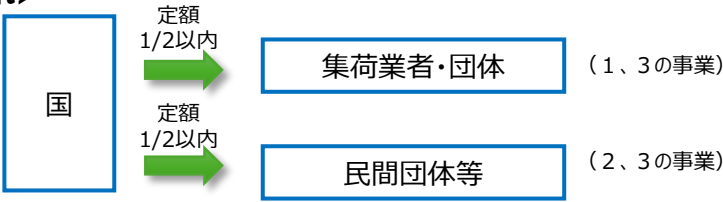
② 主食用米を海外向けに販売する際の商品開発、販売促進等の取組

③ 主食用米を業務用向け等に販売する際の商品開発、販売促進等の取組

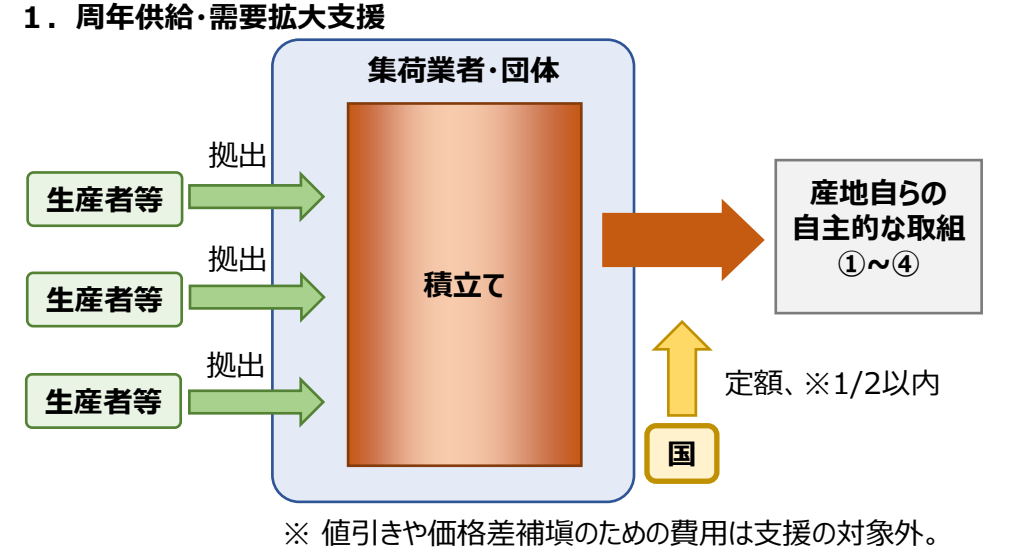
④ 主食用米を非主食用へ販売する取組
2. 業務用米、新市場開拓用米等の安定取引拡大支援（全国事業）
- 産地と中食・外食事業者等との安定取引を拡大するため、**民間団体等が行う業務用米の生産・流通の拡大に向けた展示商談会、新たな需要拡大に向けた商品開発・ニーズに基づく播種前契約のための取組、海外業務用需要などの新たな市場開拓に必要な取組等**を支援します。
3. 民間備蓄実証事業

民間備蓄の本格導入に向けた運用を検討するために**令和8年度の実証で判明した課題を解決するための実証的な取組**を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



2. 業務用米、新市場開拓用米等の安定取引拡大支援

〔セミナー〕

〔展示商談会〕

〔個別商談会〕